



## 男女共同参画コーナー

R3.4 月

# ひゅ〜ら ~Human Love~

みんなが笑顔でいられる社会を考えよう！  
～女性プラザ祭2020に参加して～

昨年11月に開催された女性プラザ祭2020で伺った、道内で活躍するさまざまな女性のお話の中から、「車いす建築士」の牧野准子氏のお話を紹介します。

### 【何がバリアになっているのかに気づくためには】

牧野氏は、ユニバーサルデザイン開発の会社の代表取締役で、「障がいのある自分だからこそできること」を見つけて活躍されている方です。

講演の中で、「障がいは“かわいそう”などのマイナスイメージを持ちやすいが、本人は好きで障がいを持ったのではない。よく知らないからこそ偏見を持ってしまう。」とのお話がありました。牧野氏自身も車いす生活になったからこそ気付いた視点があり、「物事を知らないこと」がバリアになっている」ということを知るのが重要とのお話でした。

また、実際に関わる際には、目線の高さを合わせて話す、何か手伝う場合は一声かけてから

行うなどの配慮は必要ですが、「障がいを持っているから」と特別扱いするのではなく、できないことを補って対等に接するのが良いとのお話もありました。

### 【研修に参加して】

誰もが笑顔でいられるような社会をつくるためには、障がいに限らず、「何がバリアになっているのか」を知ろうとする姿勢がとても大事だと思いました。改めて、偏見を持っている自分がいなか振り返るとともに、どのような健康状態であっても、誰もが自分らしく輝いて生きていける道が必ずあるのだと希望をも持てた研修でした。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



## 男女共同参画コーナー

R3.5 月

# ひゅ〜ら ~ Human Love ~

圧倒的に“女性が姓を改める”割合が高いのはどうして？  
～結婚後の姓の名乗り方について考える～

民法では、夫婦は「夫又は妻の氏を称する」とされており、必ず夫婦どちらか一方の姓を名乗ることとされていますが、いったいどちらの姓を名乗ることが多いのでしょうか。

### 【日本では9割以上の夫婦で女性が改姓している】

厚生労働省によると、結婚後に夫の姓を選択する夫婦は96%と報告されています。

夫の姓を選択する夫婦が圧倒的に多い要因の一つとしては、それがすでに慣習として根付いていることが挙げられます。「男は仕事、女は家事」という固定観念から「女性が家に入ること」が慣習化して生まれた、「女性は改姓し家庭を支えるもの」・「結婚したら女性が改姓するのが当たり前」という結婚や家庭に対するイメージが、今もなお、夫婦の姓の選択に影響を与えているのではないのでしょうか。

### 【結婚後はどちらの姓を選んで良いのです】

男性が女性の姓へ改姓するのはまれです。そのため、結婚の諸手続きの際には、当然のように「女性

の改姓の手続き」が始まることさえあるそうです。

近年は、女性の社会参加や共働き世帯の増加に伴い、女性が改姓することでの社会的な不便や不利益が増え、選択的夫婦別姓に関する議論も浮上するようになりました。

### 【あとがき】

姓の選択は夫婦にとってその後の人生を左右する大切なものですが、最も大切なことは、“女性の改姓が当たり前”という固定観念にとらわれず、お互いの想いを尊重して2人で判断することです。どちらかに改姓するだけでなく夫婦別姓も選べるなど、2人の幸福度が高まるような多様な選択ができるようになるといいですね。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

R3.6 月

|| リーダーを希望する女性が少ないのはなぜ？ ||  
～調査の結果から見える理由～

本年4月、国際NGOのプラン・インターナショナルが、18歳以上の社会人と15～24歳の学生を対象に女性のリーダーシップについて調査した結果を公表しました。

【責任のある仕事をしたいと考える女性が少ない】

調査結果は、「リーダーとして責任ある仕事を行うこと」を希望する割合が、社会人では男性30%、女性10%、学生では男性18%、女性9%でした。また、希望しない理由としては、社会人、学生ともに「責任のある仕事をしたくない」「自信がない」などが多数を占めました。女性活躍が求められる時代にもかかわらず、実際にリーダーとして仕事をしたい女性の割合は約1割と、男性に比べて低いことに驚きました。

【女性の割合が低い理由を考えてみよう】

例えば、この結果を放映したテレビ局での女性管理職の登用率は、日本民放放送労働組合連合会が昨年3月にまとめた調査によると、役員クラスで約9%、局長クラスでは0%と、なかなか低いようです。

プラン・インターナショナルの調査結果によれば、日本では女性は男性に比べ、社会人、学生ともに希望しない理由として「自信がない」と回答する人が多い傾向が見られます。リーダーに求められる資質が、一般化された男性リーダー像のものであることや、女性リーダーの手本が少ないことによる不安などが、女性がリーダーを目指す上での妨げとなっているのではないのでしょうか。

【あとがき】

「枠を作れば女性管理職は増える」との意見も聞かれますが、無理に増やすのではなく、私たち一人ひとりが意識を変え、女性がリーダーを目指しやすい社会にしていく必要があるのではないかと感じました。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

R3.7 月

|| アンコンシャスバイアスと女性活躍 ||  
～誰もがより活躍できる社会のために～

「お茶出しは女性がやるもの」、「女性は細やかな気遣いができる」、「女性は理系より文系が得意」  
知らず知らずのうちに思い込んでいることはありませんか？

【アンコンシャスバイアスとは】

過去の経験や見聞きしたことから、自分でも気付かないうちに思い込んでいること、そうしてしまうことは誰しもあると思います。例えば、血液型で相手の性格を想像したり、「親が単身赴任中」と聞くと父親を思い浮かべるなど、「無意識の思い込み」「無意識の偏見」がアンコンシャスバイアスです。

【何が問題となるのでしょうか】

無意識のうちに思い込んでいることすべてが悪いわけではありませんが、例えばこういう場合はどう感じるでしょうか。「女性は機械が苦手だから、パソコンの設定はこちらでやってあげよう。」「子育て中の女性には責任の重い仕事は任せないようにしよう。」。一見、女性への親切的な態度に見えますが、過保護な扱いは女性の成長機会を奪い、仕事への

チャレンジ意欲や自らスキルを磨く姿勢を失わせる可能性があります。また、「女性はリーダーに向いていない・なりたがらない」のような思い込みは、男性だけでなく女性にも根強く、女性活躍の妨げとなっています。

【誰もが活躍の機会を得られる社会へ】

アメリカのオーケストラでは、応募者と審査員の間にスクリーンを置き、誰が演奏しているか見えない状態で審査を行うようにした結果、女性の採用比率が大きく向上したという例があります。誰もが活躍の機会を得られる社会にしていくには、まずは私たち一人ひとりがアンコンシャスバイアスを知り、自分の思い込みに気付くことが大切だと思いました。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

R3.8 月

「無意識」を「意識」する  
～誰もが対等な関係で暮らすために～

「アンコンシャスバイアス」とは、誰もが持っている無意識の思い込みや偏見のことです。誰もが対等に、協力し合って暮らすためには、自分の中の偏見や思い込みに気付くことが大切です。

【無意識に性別で役割を決めていませんか？】

過去には、家事や育児を一人でこなす女性が描かれたCMに批判が相次ぎ、放送が中止となったことがありました。配慮に欠けた内容に、放送を見た多くの方が、家庭内での役割を女性に押し付けられているように感じたからです。今でこそ、男性が料理や洗濯をしているCMも増えてはきましたが、このような思い込みによって制作されるCMは、なかなか無くなりません。

【意識せずとも平等な社会へ】

役割は、性別で決められるべきものではありません。本当に大切なのは意識せずとも男女が対等な関係であることをみんなが認識することですが、いまだに偏見が根強く残り、物議を醸す場合

も少なくありません。アンコンシャスバイアスを減らすためには、まずはその存在を知り、自分にも偏見や思い込みがあることに気付くことが大切です。自分自身で「無意識」に気付くことは難しいですが、家族や友人と日常の中で気が付いたことや見過ごしていたことについて話し合ってみることも有効だと思います。

【あとがき】

最近ではイラストや絵文字も性別にとらわれないものが少しずつ増えています。目に止まる些細な部分からアンコンシャスバイアスを減らし、誰もが対等な関係で暮らしていける社会になるとよいですね。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

R3.9 月

“らしさ”に縛られないで  
～「男らしい」って良いこと？悪いこと？～

「男なんだからしっかりしなさい」「男なのにかわいいものが好きなの？」といった“らしさ”について、周りから言われた経験はありませんか？今回は、「男らしさ」について考えてみました。

【「らしさ」って何？】

そもそも「男らしさ」とは何でしょうか。世代や性別によってもイメージは異なると思いますが、男性的なたくましい容姿や言動のほか、「男は弱音を吐くな・泣くな」「男は働き、稼いで家庭を支えるもの」といった、男性に期待されたり、求められてきた価値観を指す場合もあります。

【「らしさ」が男性自身を苦しめているかも】

「男らしさ」自体が悪いわけではありませんが、かえってそれがプレッシャーとなり、生きづらさを抱えている人も少なくありません。ある意識調査で、約半数の男性が、男としての生きづらさを感じており、日常生活の中でプレッシャーを感じていると回答しました。定年まで働き続けて家庭を

支えていかなければならないと感じているのに加え、弱音を吐くことができず、悩みを打ち明けにくいということが理由としてあるようです。

【あとがき】

価値観は人それぞれです。男らしく・女らしくありたいと望む人もいます。しかし、「らしさ」による生きづらさを抱えている人がいることも事実です。「男なのに…」とまわりに価値観を押し付けたり、「男だからこうあるべきだ」と思い込みにくくせず、多様性を認め合い、「男らしさ・女らしさ」に縛られない社会にしていけると良いですね。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

R3.10 月

取得すること自体が目的になっていませんか？  
～男性の育児休業について考える～

近年、男性の育児休業の取得や、家事・育児などへの参画が話題となっています。皆さんは、育児休業を取得した男性にどんなことをしてもらいたいですか？

### 【育児休業が取りやすくなります】

世界の国々と比較するとまだ水準が低い、日本の男性の育児休業取得率の向上に向けて、育児介護休業法が令和3年6月に改正されました。これにより、育休取得中も働くことができたり、取得時期を分けたりできるようになるなど、「育休を取得しやすい環境整備づくり」が進められています。今後はより柔軟に育児休業が取れるようになりそうです。

### 【「取るだけ育休」になっていませんか？】

しかし、大切なのは育児休業を取るのではなく、夫が主体的に家事・育児に参画することです。妻に頼まれないとやらない、やってもお皿は洗うだけ、赤ちゃんのお風呂は入れるだけなど、せっかく育休を取っても「手伝う」だけの「取るだけ育休」も多く、

妻からすると「もう少し家事・育児に積極的に取り組んでほしい」「家事・育児についてもっと学んでほしい」ということも少なくないと聞きます。

### 【有意義な育児休業を過ごすには】

育児や家事に関する考え方や知識量が夫婦間で違うことは当然のことです。これを解消し、夫婦がお互いを理解し支え合って育児をしていくためには、育児休業中の過ごし方、家事・育児の分担などについて事前によく話し合うなど、夫婦間のコミュニケーションが大切です。また、出産前の子育て講座などに夫も積極的に参加し、子育ての知識やスキルを身に付けるなど、日頃から夫婦で取り組むことが有意義な育児休業につながると思います。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

R3.11 月

DVと児童虐待の関わりについて考える  
～11月はDV対策強化月間と児童虐待防止推進月間です～

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、DV(ドメスティック・バイオレンス)の急増が話題となっていますが、DVが児童虐待と密接に関わりがあることはご存じですか？

### 【DV(ドメスティック・バイオレンス)とは】

配偶者や恋人などのパートナーから振るわれる暴力を指します。DVには身体的暴力のほか、性行為の強要といった性的暴力、大声で怒鳴る、家族や友人などとの交流の制限、人前で馬鹿にするなどの精神的暴力、生活に必要な金銭を渡さないといった経済的暴力などがあります。

### 【DVは児童虐待につながる場合があります】

DVは被害者の心身への影響や経済的な困難など、さまざまな影響をもたらします。特に、子どものいる家庭でのDVは、児童虐待につながる場合があります。

例えば、子どもが見ている前でDVを行うことは面前DVといい、子どもへの心理的虐待にあたります。

また、子どもへの暴力がある場合、DVの被害者は加害者に対する恐怖感から、暴力を制止できないこともあります。

虐待を受けた子どもは、暴力で解決するようになる、無力感や罪悪感を抱えて育つ、自己肯定感が低くなるなど、多大な影響を受けます。これらは非行や家族の信頼関係の崩壊などを引き起こす場合があります。子どもの健全な成長の妨げになってしまいます。

### 【身の周りに心配だなど感じる人はいませんか？】

DVは非常に潜在化しやすい問題です。被害者本人だけの力では解決が難しいこともあり、周りが気付かずに手を差し伸べることが必要です。まずはみんなが理解を深めることが大切です。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅーら

～ Human Love ～

R4.1 月

生理の貧困ってなんだろう  
～どうして生理用品が買えないの?～

コロナ禍で貧困問題が深刻化しています。特に女性は、男性に比べてパートなどの非正規雇用者が多く、影響が深刻です。そんな中で注目されている「生理の貧困」とはどんなことでしょうか？

#### 【生理による女性へのさまざまな負担】

生理には、経済的な負担のほか、生理中や生理前後のホルモンの影響による体調不良や、イライラするなど心身への負担もあり、仕事や学校を休まざるを得ないなど活動を制限されることもあります。

#### 【生理の貧困の要因】

生理の貧困とは、生理用品を十分に入手できないことを指します。主な要因は経済的困窮ですが、中には、虐待やネグレクト、DVのため、保護者や配偶者に買ってほしいと言えない人や、お小遣いなどの自分で使えるお金が少なく、生理用品の購入費が後回しになる人もいます。ほかにも、「生理の話は公にしたくない、恥ずかしい」との意識から、自

分で買うのが恥ずかしい、父子家庭で親に言いにくいことなども要因とされています。

#### 【解決のための取り組み】

日本では、解決に向け少しずつ動き始めたところで、学校などで生理用品の配布などを始めた自治体もあります。諸外国には生理用品の無償提供など、生理の貧困を社会全体で解決する国もあります。

#### 【あとがき】

生理は単なる生理現象の1つで、恥ずかしいことではありません。女性だけの問題ではなく、社会全体で生理について理解し合い、暮らしやすい世の中になると良いですね。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅーら

～ Human Love ～

R4.2 月

男女共同参画社会ってどんな社会？  
～自分にできることは何か考えてみよう～

網走市では「網走市男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けたさまざまな取り組みを進めています。改めて「男女共同参画社会」とは何かを考えてみましょう。

#### 【「男女共同参画」ってどんなイメージ？】

「男女共同参画」と聞くと、男女平等や女性活躍など、「女性に比重を置き、男性はこれまでの思考や行動を変えること」のようなイメージがある人もいるかと思います。そのため、男性は負担を感じたり、女性は政策で訴えていることと日常とのギャップに戸惑ったりすることもあり、難しく感じることもあるようです。しかし、男女共同参画はもっと身近なものです。

#### 【男女共同参画社会とは？】

男女共同参画社会とは、男女がお互いに人権を尊重し、「男性」、「女性」というイメージに当てはめることなく、それぞれの個性や能力を十分に発揮できる豊かな社会のことです。

近年では「LGBT」、「性の多様性」といった言葉も広まり、男女共同参画社会の実現を目指すことで、多様な性の尊重も含め、すべての人が幸福を感じられる社会につながることでされています。

#### 【あとがき】

最近では、固定的な考え方や慣習が、少しずつ男女平等の意識へと変わってきています。例えば、家事や育児などを一方に任せきりにするのではなく、男女で一緒に行い、お互いが家庭生活と仕事やその他の時間を両立することも、立派な男女共同参画です。このように、私たちの身近にもできることはたくさんあります。相手を思いやる気持ちを持って、自分にできることは何か考えてみましょう。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員





男女共同参画コーナー

ひゅーら

～ Human Love ～

R4.3月

「性」について学ぶことは？  
～自分も相手も大切に～

みなさんは「性教育」にどんなイメージを持っていますか？自分が受けた授業などを思い出し  
ながら、まずは、あなたの持つイメージを思い浮かべてみてください。

#### 【日本における「性教育」へのイメージ】

主に思春期に学習することや、男女の体に関わる内容を扱うことなどから、「性教育は恥ずかしいもの」といったイメージを持つ方も中には居るかもしれません。しかし、性について学ぶことは決して恥ずかしいことではなく、とても大切なことです。

#### 【学校での性に関する学習とその意義】

学校では、第二性徴、月経・射精などの生理現象、妊娠、性感染症など、生殖に関する体の仕組みや心身の健康について学びます。性について学び、自分の体や性を肯定的に捉えることは、自分と相手を尊重し、大切にすることや、性的なトラブルの防止・回避などにつながります。

また、他者（家族・友人・恋人）との付き合い方、性暴力、コミュニケーションの取り方、正しいSNSの使い方などのメディアリテラシーなどといった、日常生活に関わることも学びます。

#### 【あとがき】

最近では、人権やジェンダー、人間関係などを含む幅広い内容について体系的に学ぶ「包括的性教育」の重要性も指摘されています。性について学ぶことは、日常生活において、自分のことも相手のことも尊重できるような人間関係を築くために必要なことです。これから学習していく子どもだけではなく、大人も一緒に学ぶことも大切です。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員